

コミュニティ・スクールだより

No1

地域学校協働活動の様子

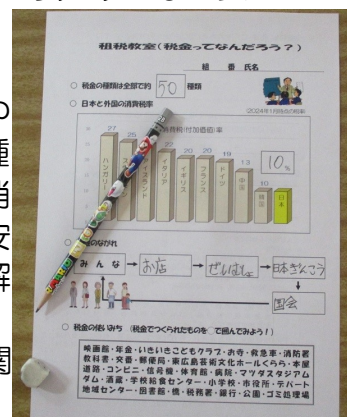
地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組も、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。その一部を紹介いたします。

税について考える（租税教室）6月

6年生はこの時期、社会科『憲法と政治のしくみ』“租税の役割”の項目で、国や県、市によって行われている社会保障、警察・消防・教育、公共サービス、災害復旧の取組などに必要な費用は租税によって賄われていること、それらは私たちの生活と密接に関係しており、みんなが安心して過ごせる社会を築くためには不可欠なこととして学習しています。

今回、「公益社団法人 東広島法人会」の関係者計3名が来校され、“租税の役割”について身近な事柄と関連付けながら、具体的に分かりやすく教えていただきました。「そもそも税金ってなんなの?」「どんな種類があるの?」「税金はどのように使われているの?」「もし、警察、消防、市役所、学校、地域センターなどがなかったら…」 私たちが安心安全な生活をしていくために、租税が大切な役割を果たしていることを理解したようでした。

お忙しい中ご来校いただきました「公益社団法人 東広島法人会」の関係者の皆様、ありがとうございました。



もし不審者が校内に入ってきたら（避難訓練）6月

児童8人の尊い命が奪われた「大阪教育大学附属池田小学校事件」から、今月で24年が経過しました。毎年3回、全児童と教職員が参加しての避難訓練を計画していますが、あの日のことを忘れないためにも、第一回目の訓練は『不審者対応避難訓練』としています。

授業中、“まなびのこみち”から校舎内に侵入しようとする者を見掛け、近くにいた職員が声をかけたという設定です。あいまいな返事をする不審者に、連絡を受けた他の職員は、さすまた・バイザー・ほうきや消火器をそれぞれ手に取り、対応現場に駆け付けこの場から退去を求めるとともに、これ以上敷地内に入りこむことができないようにしました。授業中の子供たちには、校内放送を通じてこの状況を知らせました。教室では教師の指示のもと、安全体制と避難体制を整えて避難に向けて次の放送を待ちました。

事前の学級指導では、「自分の身そして友達を守るにはどうしたらよいのか」「どこをどう避難したらよいのか」「日頃はどのように対応したらよいのか」などの確認や指導を行いました。訓練後の“振り返り”では、体育館において講師としてお迎えしたスクールガードリーダーさんや東広島警察生活安全課の方から全体指導をしていただきました。スクールガードリーダーさんには、事前に訓練を実施するに当たって、児童が安全に避難できるよう、また不審者と遭遇した際に適切な行動をとれるよう、アドバイスやサポートをいただいています。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

